国保事務の基礎を学ぶ

国民健康保険事務担当初任者研修会

京都府と本会主催の国民健康保険事務担当初任者研修会は、５月８日（金）、府国保連合会に２７保険者５５名の国保事務担当者（経験年数２年未満中心）と本会３名の延べ５８名が参加し開催された。

開会にあたり、主催者を代表して府健康福祉部医療保険課の西垣課長は、国民健康保険の社会的関心が高まる中、それぞれの果たす役割も高まってくるため、研修を有意義なものとし、資料等を業務に活かしてほしいと挨拶した。

府医療保険課国保担当から「国民健康保険制度の概要」「資格」「保険料（税）」「保険給付」について、本会からは「国保連合会事業概要」「レセプトの流れ」について説明した。

また、舞鶴市の野村保険医療課管理係長より実際に従事している立場から国民健康保険業務について説明をした。

グループ討論の時間には、国保事務の担当となってからの感想や課題等を話し合い、それぞれの意見を今後の業務の参考とした。

グループ討論の様子